

2022年 11月 22日

各 位

株式会社三井住友銀行

日本電気硝子株式会社との「グリーンローン」の締結について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠、以下「三井住友銀行」）は、日本電気硝子株式会社（社長：松本元春）に対し、グリーンローン（以下、「本ローン」）を締結いたしました。

グリーンローンは、企業等が環境問題の解決に貢献する事業（以下「グリーンプロジェクト」）に要する資金を調達する際に用いられる融資であり、具体的には、①調達資金の用途がグリーンプロジェクトに限定され、②調達資金が確実に追跡管理され、③それらについて融資後のレポートを通じ透明性が確保されたものを指します。

本ローンで調達される資金は、日本電気硝子株式会社が策定した「グリーンファイナンス・フレームワーク」（以下、「本フレームワーク」）で定められたグリーンプロジェクトに充当される予定です。本フレームワークは、国際資本市場協会（ICMA）の定める「グリーンボンド原則 2021」、環境省の定める「グリーンボンドガイドライン（2022年版）」、ローン・マーケット・アソシエーション（LMA）、アジア太平洋ローン・マーケット・アソシエーション（APLMA）及びローン・シンジケーション&トレーディング・アソシエーション（LSTA）の定める「グリーンローン原則 2021」及び環境省の定める「グリーンローンガイドライン（2022年版）」との適合性について、第三者機関である株式会社日本格付研究所から「セカンドオピニオン」を取得しており、最上位である「Green 1(F)」の評価を得ています。

日本電気硝子は、大切にしている価値観として“自然との共生”を掲げ、「世界一効率の高いモノづくりこそが、世界一環境にやさしいモノづくりにつながる」との考えのもと、品質や歩留まりの向上を通じて省エネルギーやCO<sub>2</sub>排出削減に取り組んできました。2022年2月には、2030年のCO<sub>2</sub>削減目標と2050年のカーボンニュートラル達成を公表し、現在、全電気溶融設備の水平展開や省エネ設備への切り替え、再生可能エネルギーへの投資等、野心的な施策を推進しているところです。本ローンによる資金をこれらの施策に活用することで、カーボンニュートラルの達成に向けて着実に歩みを進め、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

SMBCグループでは2021年7月27日に「SMBC Group GREEN Innovator」のコンセプトを公表し、社会のサステナビリティをお客さまとともに実現するためのサービス・商品の提供に一層注力してまいります。また、株式会社三井住友銀行では、お客さまのサステナビリティ経営に向けたソリューションの提供や対話を行い、持続可能な社会及び市場の形成にも一層貢献を行ってまいります。

**【本ローンの概要】**

実行日 2022年11月22日  
貸付人 株式会社三井住友銀行  
契約金額 35億円  
契約期間 5年

(参考)

日本電気硝子株式会社ホームページ

<https://www.neg.co.jp/>をご参照ください。

株式会社日本格付研究所による「セカンドオピニオン」の詳細：

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>をご参照ください。

以 上

**【本件に関するお問い合わせ先】**

サステナブルソリューション部

TEL：03-4333-2703

このお知らせは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。